

	<table border="1"> <tr> <td>団体名</td> <td>特定非営利活動法人 子どもの環境を守る会 Jワールド</td> </tr> <tr> <td>代表者名</td> <td>三浦輝江</td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td>千葉県松戸市新松戸4-257-1</td> </tr> </table>	団体名	特定非営利活動法人 子どもの環境を守る会 Jワールド	代表者名	三浦輝江	所在地	千葉県松戸市新松戸4-257-1
団体名	特定非営利活動法人 子どもの環境を守る会 Jワールド						
代表者名	三浦輝江						
所在地	千葉県松戸市新松戸4-257-1						
1 事業名	地域に広がる家族的異年齢交流と居場所づくり						
2 事業費	250,000 円（このうち県の支出 125,000 円）						
3 事業期間	平成21年8月1日～平成22年2月28日						
4 事業の目的	松戸市は家庭内虐待、ひきこもり、登校拒否等の問題がある。その解決策の一つとして弊 NPO は乳幼児から中高生の家族的異年齢交流と居場所作りに取り組んでいる。さらにこの活動を地域や他団体に普及、啓蒙する。						
5 事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業の従事者の募集と育成</li> <li>・賛助会員募集</li> <li>・他団体に活動の紹介とバウンダリーセミナーを開催する。</li> <li>・父親の役割セミナーを開催する。</li> </ul>						
6 事業経過	<p>※「誰が」「誰と」「誰（何）を対象に」「いつ」「どこで」「何をしたのか」ということを、わかりやすく簡潔に記載してください。</p> <p>8月：バウンダリーパンフレット作成打ち合わせ①② NPO ハーモニースタッフ研修会でバウンダリー講座</p> <p>9月：リトミック実施 子育てセミナー「ママのコミュニケーションカアップ 切れない子どもを育てる」 バウンダリーパンフレット作成打ち合わせ③</p> <p>10月：リトミック 子育てセミナー「ママのコミュニケーションカアップ 我が家のルールを考えよう」 まつど版サポート資源提供システム創る会での活動 発表 父親の役割セミナー</p> <p>11月：リトミック 松戸市シニア交流センター祭りで J キッズの子ども たちによるパフォーマンス紹介 子育てセミナー「ママのコミュニケーションカアップ 我慢することを教える」 東京飯田橋ボランティアセンターにて「働く女性の ためのバウンダリー講座①」</p>						

	<p>12月：流山パートナーシップでバウンダリー講座  子育てセミナー「ママのコミュニケーションカアップ  ごめんなさいの大切さ」  東京飯田橋ボランティアセンターにて「働く女性のためのバウンダリー講座②」</p> <p>1月：子育てセミナー「ママのコミュニケーションカアップ  バウンダリーとは何か」  リトミック  東京飯田橋ボランティアセンターにて「働く女性のためのバウンダリー講座③」</p> <p>2月：バウンダリーパンフレット完成  子育てセミナー「ママのコミュニケーションカアップ  バウンダリーの機能」  父親の役割セミナー</p>
<p>7 事業成果</p>	<p>■具体的な成果  ※具体的にどのような成果が出たのか、当初の目標に照らしてどの程度達成できたのかを記載してください。</p> <p>①リトミック・子育てセミナーの参加者の中からボランティアスタッフが3名ずつ与えられた。</p> <p>②パソコンとプロジェクターの購入により、プレゼンテーション能力の向上が見られ、子育てセミナーの継続参加者が増えた。1.5倍の目標達成ができた。</p> <p>③松戸市や流山市などこれまで交流のなかった多団体との交流が始まった。</p> <p>④バウンダリー講座を新松戸、南流山、東京飯田橋で開催。東京飯田橋では継続プログラムとなった。</p>
<p>8 直面した課題と今後の展開</p>	<p>■直面した課題  ※この事業の過程で直面した課題・問題を記載してください。</p> <p>①バウンダリーパンフレットの作製は初めてのことで、文章の作成や業者とのやりとりに思っていた以上に時間がかかってしまった。</p> <p>②上記のため他のパンフレット作成ができなかったため、新しい賛助会員へのアピールが十分に行われず期待していた募集ができなかった。</p>

	<p>■平成22年度以降の事業展開</p> <p>※この事業は21年度の県の補助事業としては完了しますが、どのように事業活動を展開していくのかを記載してください。</p> <p>①NPO 団体としての中長期方向性を明確にし、ビジョン達成に向けていく。</p> <p>②各事業の評価を四半期毎に行い、各事業との関連性、NPO 団体としての継続性、社会への貢献度を見据えて計画実施していく。</p> <p>③バウンダリーのパンフレットを他のNPO 団体や学校・PTA に紹介し、バウンダリーの普及・啓蒙に取り組む。</p>
<p>9 補助金事業の感想等</p>	<p>※NPO活動費補助金を行った感想や、応募についてのアドバイスなどがあれば記載してください。</p> <p>①補助金の利用によって年間の計画的事業拡大を図ることができると思う。</p>